

令和8年2月10日

奥沢小学校校長 前田 恵里 殿
学校運営委員会委員長 萩原 富夫 殿

学校関係者評価委員会
委員長 伸澤秀基

令和7年度 学校関係者評価委員会 報告書

【 1. アンケート集計分析と評価について 】

(1) アンケート実施時期 令和7年 11 月4日～11 月11日

(2) アンケート対象者および回収率

対象	実施数	回収率
5 年・6 年全児童	141 名	84%
全学年保護者	448 名(児童数)	88%
地域	60 名	52%

(3) アンケート結果の評価分析については、次のように行った。

アンケートの回答のA「とても思う」とB「思う」を肯定的回答とし、C「あまり思わない」とD「思わない」を否定的回答、E「分からない」を不明回答とした。また、AとBの合計が 75%以上であるものを良好な項目と評価した。％値およびポイント数は、小数点以下を四捨五入して表記した。

【 2. 総 評 】

(1) 今年度はほとんどの設問を学校独自で設定できるようになった。昨年までの設問も残しつつ、奥沢小学校での取り組みである「チーム担任制」や「非認知能力」についての設問や、他の設問項目の文言の見直し、新たな設問を設定するなどをした。学校独自の設問が設定できることによって、奥沢小学校の重点項目や取り組みを反映した、よりよい教育環境を整えるための方策を練ることができるであろう。

(2) オンラインでのアンケート実施が始まった R5 年度は保護者の回収率が低かったが、本年度も昨年度に引き続きリマインドのメール配信とともに回答済み確認の手紙配布の実施等、先生方により回収率の向上の努力がなされた。

	本年度	R6年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度
児童	84%	88%	89%	87%	100%
保護者	88%	94%	42%	36%	92%
地域	52%	64%	49%	47%	62%

(3) 肯定的・否定的・不明回答の数は、下記のとおりである。昨年度に比べ、保護者の否定的・不明回答の項目が減った。

		本年度	R6 年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度
児童	肯定的回答 75%以上	19/23 項目	21/25 項目	20/24 項目	23/25項目	20/22項目
	否定的回答 25%以上	0/23 項目	0/25 項目	1/24 項目	1/25項目	1/22項目
	不明回答 20%以上	0/23 項目	0/25 項目	1/24 項目	1/25項目	2/22項目
保護者	肯定的回答 75%以上	17/34 項目	15/38 項目	17/38 項目	18/38 項目	18/34項目
	否定的回答 25%以上	4/34 項目	6/38 項目	8/38 項目	7/38 項目	4/34項目
	不明回答 20%以上	5/34 項目	8/38 項目	8/38 項目	8/38 項目	4/34項目
地域	肯定的回答 75%以上	12/14 項目	14/17 項目	11/17 項目	13/17 項目	11/15 項目
	否定的回答 25%以上	2/14 項目	2/17 項目	2/17 項目	2/17 項目	2/15 項目
	不明回答 20%以上	0/14 項目	0/17 項目	1/17 項目	1/17 項目	1/15 項目

肯定的回答…A+B 否定的回答…C+D 不明回答…E

(Aとても思う B思う Cあまり思わない D思わない E分からない)

(4) 肯定的回答の多い項目は、以下の通りである。

【設問番号に続く数値%は、肯定的回答(A+B)%を示す】

児童

- ・児 1-2 92%《先生は課題(めあて)について自分で考えたり友達と考えたりする時間を授業の中で取っている》
- ・児 1-4 91%《授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある》
- ・児 3-1 91%《学校行事は楽しい》
- ・児 6-1 89%《学校生活は楽しい》
- ・児 4-1 87%《自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある》

保護者

- ・保 9-3 97%《私は家庭でも挨拶を大切にしている》
- ・保 3-1 95%《学校行事は、子どもにとって楽しい》
- ・保 3-2 93%《学校行事は子どもにとって達成感がある》
- ・保 11-2 89%《本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する授業をしている》
- ・保 7-4 89%《本校は、ホームページやメール配信などで、保護者に情報を提供している》

地域

- ・地 3-3 100%《学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子がわかる》
- ・地 2-2 100%《事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある》
- ・地 3-1 100%《学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる》
- ・地 2-1 100%《学校行事の内容は充実している》
- ・地 6-2 100%《学校は、安全性を高めようと地域と協力している》

(5) 否定的回答の多い項目は以下の通りである。

【設問番号に続く数値%は、否定的回答(C+D)%を示す】

児童

- ・児 5-3 24%《チーム担任制により、自分から進んで活動する力がのびたと感じている》

- ・児 4-3 23%《先生は、中学進学に向けた授業をしている》
- ・児 6-3 21%《私は家庭で宿題やタブレット端末を利用した学習をしている》
- ・児 6-2 19%《学校が好きだ》
- ・児 1-6 17%《私は、進んで学習に取り組んだり、ねばり強く課題に取り組んだりし、やりとげることができる》

保護者

- ・保 6-2 42%《子どもは家庭で自主的に学習している》
- ・保 5-3 31%《チーム担任制により、子どもの自分から進んで活動する力が伸びたと感じている》
- ・保 6-3 27%《本校は、近隣の(幼)小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている》
- ・保 1-5 26%《子どもは進んで学習に取り組んだり、ねばり強く課題に取り組んだりし、やりとげることができる》
- ・保 9-2 26%《私は、学校行事、PTA や地域主催の行事などにすすんで協力している》

地域

- ・地 5-2 42%《学校協議会、合同学校協議会が役割を果たしている》
- ・地 3-2 33%《「学び舎」の活動について、情報が提供されている》
- ・地 1-1 17%《通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている》
- ・地 3-4 8%《学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子がわかる情報が掲載されている》
- ・地 5-3 4%《学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている》

(6) 保護者の不明回答「わからない」が 20%を越す項目は、以下の通りである。

【設問番号に続く数値%は、不明回答(E)%を示す】

保護者

- ・保 3-4 34.5%《チーム担任により子どもの自分から進んで活動するのが伸びたと感じている》
- ・保 10-3 24.1%《本校は、地域に情報を提供している》
- ・保 6-3 23%《本校は、近隣の(幼)小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている》
- ・保 4-2 23%《本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている》
- ・保 1-2 22.3%《本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している》

(7) まとめ

学校が楽しい、学校行事に関する設問の結果から、子どもたちがいきいきと学校生活を送っている様子がうかがわれ、日頃の先生方の取り組みや努力に敬意を表したい。

本校では、前年度より、児童を多角的にみとることや各学級における指導の均等化を実現するため、1年生2年生で副担任制、3年生以上で「チーム担任制」を導入している。「担任制について」のアンケートでは、保護者の否定的回答・不明回答「わからない」の数値が高い。その反面、子どもたちの回答からは、「チーム担任制」のよさを実感している印象を受ける。一方、保護者や地域に対しては「チーム担任制」のメリットを十分理解いただけるように、より分かりやすい説明に努めて

いただきたい。そのことによって、家庭、学校、地域が一体となった教育活動が展開されることを期待する。

【 3. 各項目についての評価 】

1. 学習・学習指導について

児童は、いずれも良好であった。児 1-6 は新しい設問であったが良好な結果であった。

保護者は、保 1-1、保 1-3 は概ね良好であった。保 1-2、保 1-4、保 1-5 は、いずれもやや低い。

保 1-2 は昨年同様に全学年で共通して「わからない」も多い。「わからない」の回答は授業に関する項目について多く見られ、学校の取り組みがうまく伝わっていないようだ。保 1-5 は新しい設問である。

保護者の皆様も、ぜひ学校公開において、その点について注目されてはどうだろうか？

児童

- ・児 1-1 82%《学ぶことが楽しい》
- ・児 1-2 93%《先生は、課題(めあて)について、自分で考えたり友達と考えたりする時間を授業の中で取っている》
- ・児 1-3 82%《先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している》
- ・児 1-4 92%《授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある》
- ・児 1-5 84%《先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている》
- ・児 1-6 82%《私は、進んで学習に取り組んだり、ねばり強く課題に取り組んだりし、やりとげることができる》

保護者

- ・保 1-1 75%《本校は、子どもが考えることや課題を解決することを大切にした授業を行っている》
- ・保 1-2 62%《本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している》
- ・保 1-3 78%《本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある》
- ・保 1-4 67%《本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている》
- ・保 1-5 66%《子どもは、進んで学習に取り組んだり、ねばり強く課題に取り組んだりし、やりとげることができる》

2. 生活指導について

児童は、いずれも良好であった。

保護者は、概ね良好であるが、学年によって違いもみられる。生活指導については学校内の取り組みとともに家庭での姿勢や協力も大切と考えられる。保護者にも、学校での過ごし方やルールを理解していただけるような取り組みを考えていただきたい。

地域は、良好である。

児童

- ・児 2-1 85%《私は、学校のきまりを守って、行動している》
- ・児 2-2 83%《私は、すすんであいさつをしている》
- ・児 2-3 87%《先生に注意されたことは、理解できる》

保護者

- ・保 2-1 73%《本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている》
- ・保 2-2 76%《本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している》

地域

- ・地 1-1 83%《通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている》

3. 学校行事について

児童、保護者ともに全て良好であるが、児 3-3 はやや低い。子どもたち一人一人に目を向ける「チーム担任制」のよさがより発揮されることが望まれる。

地域は、いずれも高い評価で、学校が行事に意欲的に取り組んでいると言える。

児童

- ・児 3-1 91%《学校行事は楽しい》
- ・児 3-2 87%《学校行事は達成感がある》
- ・児 3-3 79%《先生は、児童の意欲を大切にしている》

保護者

- ・保 3-1 95%《学校行事は、子どもにとって楽しい》
- ・保 3-2 93%《学校行事は、子どもにとって達成感がある》
- ・保 3-3 82%《本校は、子どもの意欲を大切にしている》

地域

- ・地 2-1 100%《学校行事の内容は充実している》
- ・地 2-2 100%《事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある》

4. キャリア教育について

児童の児 4-1 と児 4-2 は良好である。特に児 4-1 はやや低かった昨年から比べ肯定的回答が大きく増えた。児 4-3 は設問文が変わったが低い。5年生に比べ6年生でやや高い傾向がある。

小学生にとって、中学校の情報は、保護者から聞いたり、中学校や地域の行事を通じて知ったりする場面も多いと思われる。学校行事を参観する機会を増やすなど、中学校との連携により、さらに関心が持たれるような工夫が望まれる。

保護者は、いずれも例年通り、低い。「キャリア教育」に関する具体的内容が保護者に理解されにくいと思われる。

「キャリア教育」に関する設問は、例年低めの値になる。学校としては、キャリア教育の視点を踏まえた授業を行い、年間で1回以上、学校のホームページで伝えるなど、「生きる力を身につけるための教育」として、保護者に理解してもらう工夫を引き続きお願いしたい。

児童

- ・児 4-1 87%《自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある》
- ・児 4-2 78%《目標をもち、その実現に向けて努力している》
- ・児 4-3 65%《区立中学校に関する情報が提供されている》

保護者

- ・保 4-1 61%《本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している》
- ・保 4-2 53%《本校の教員は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている》

5. 先生・教職員について

児童の児 5-1、児 5-2 は良好である。

新しい項目である児 5-3 の肯定的回答はやや低かった。

保護者の保 5-1 と保 5-2 は昨年よりも肯定的回答が増えたものの、保 5-2 の肯定的回答はもう少し増えてほしい。また保 5-3 の肯定的回答は、とても低い。「わからない」も 35%あり、学年によっては7割が「わからない」としている。このことから、「チーム担任制」と「子どもの自ら進んで活動する力」との関係性がわかりづらいのではないかと考えられる。学校は「チーム担任制」のメリットをより具体的に説明していくことも必要だと思われる。

児童

- ・児 5-1 82%《先生たちは、話をよく聞いてくれる》
- ・児 5-2 78%《先生たちは、困ったときに助けてくれる》
- ・児 5-3 65%《チーム担任制により、自分から進んで活動する力がのびたと感じている》

保護者

- ・保 5-1 84%《本校は、丁寧な指導している》
- ・保 5-2 72%《本校は子どものことを相談しやすい》
- ・保 5-3 35%《チーム担任制により、子どもの自分から進んで活動する力がのびたと感じている》

6. 全般について

児 6-1、保 6-1 については、児童、保護者ともに高評価であり、学校生活を楽しいと感じている。

児童は、児 6-3、児 6-4、児 6-5 は、ほぼ昨年度並みの結果となっている。児 6-3 が低く、児 6-4 が高いことから学校外の活動に忙しい子どもたちの様子がうかがえる。

保護者は、保 6-4、保 6-5 については、昨年度よりも数値が上がっているものの、高学年の数値がやや低いのが気になる。保 6-4 の結果については、学校として受け止めて、今後の方策を考えていただきたい。

児童

- ・児 6-1 89%《学校生活は楽しい》
- ・児 6-2 80%《学校が好き》
- ・児 6-3 71%《私は、家庭で宿題やタブレット端末を活用した学習をしている》
- ・児 6-4 86%《私は、学校外で学習（塾など）を行っている》
- ・児 6-5 66%《学び舎の中学校に行ったり、中学生がきたりする機会がある》

保護者

- ・保 6-1 88%《本校の学校生活は、子どもにとって楽しい》
- ・保 6-2 56%《子どもは、家庭で自主的に学習している》
- ・保 6-3 50%《本校は、近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている》
- ・保 6-4 75%《本校の教育活動に満足している》
- ・保 6-5 73%《子どもは、体力向上や健康な生活に取り組んでいる》

7. 学校からの情報提供について

保護者はいずれも良好であり、地域も「学び舎」を除いて良好である。

学校行事のアンケートへの返答や学校の取り組みについてのお知らせも丁寧で、保護者は情報を得ているという安心感があるものと思われる。日頃の地域へのお知らせも必要に応じ適宜行われている。「学び舎」については、地域は依然低いが、保護者の数値は上がっているため、学校の取り組みが成果をあげている。引き続き小中学校が連携しての情報提供の努力をしつつ、地域への理解を得られるような方策を検討する必要があるようだ。

保護者

- ・保 7-1 87%《本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している》
- ・保 7-2 80%《「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている》
- ・保 7-3 88%《本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる》
- ・保 7-4 89%《本校は、ホームページやメール配信などで、保護者に情報を提供している》

地域

- ・地 3-1 100%《学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる》
- ・地 3-2 63%《「学び舎」の活動について、情報が提供されている》
- ・地 3-3 100%《学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる》
- ・地 3-4 88%《学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている》

8. 学校運営について

保護者、地域、いずれも良好であり、保護者は数値も上がっている。前述の情報提供に関する項目同様に必要な情報が提供されている実感があり、理解も得られていると思われる。引き続き、教職員の皆様が一体となって、教育活動に取り組んでいただきたい。

保護者

- ・保 8-1 86%《本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている》
- ・保 8-2 83%《校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる》

地域

- ・地 4-1 100%《学校の重点目標が明確である》
- ・地 4-2 92%《地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している》

9. 学校と家庭との連携について

保 9-1 は、昨年度と同様に良好である。昨年度から、学校公開アンケートの意見に学校が回答し、それを保護者にフィードバックする取り組みが評価され、保護者の参加意識を高める手助けになっていると思われる。保 9-2は、昨年度より肯定的回答の数値が上がっている。保 9-3 は97%と大変良好である。保護者が生活の中であいさつを大切にしていることが、児童のあいさつにもより一層反映されることを期待する。

保護者

- ・保 9-1 87%《私は、学校公開にすすんで参加している》
- ・保 9-2 72%《私は、学校行事、PTA や地域主催の行事などにすすんで協力している》
- ・保 9-3 97%《私は、家庭でも挨拶を大切にしている》

10. 地域との連携について

保護者項目の全てで、昨年度よりも少しずつではあるが、数値が上がっている。特に保 10-1 は、「わからない」も昨年度より減っている。この調子で今後も取り組みを続けていただきたい地 5-1 は昨年度と同様、大変良好である。地 5-2 は、「思わない」、「わからない」という回答も多いので、引き続き丁寧な説明が望まれる。地 5-3 は、昨年度よりも 7 ポイント上がって、良好である。

保護者

- ・保 10-1 70%《本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている》
- ・保 10-2 72%《本校は、地域の活動などに協力的である》
- ・保 10-3 65%《本校は、地域に情報を提供している》

地域

- ・地 5-1 86%《地域の人や施設を教育活動に活かしている》
- ・地 5-2 54%《学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている》
- ・地 5-3 92%《学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている》

11. 学校の安全性について

保護者については概ね良好、地域についても良好であった。保 11-1 については、何について安全なのか、防犯なのか防災なのかなど、設問があいまいととらえられてしまい数値が上がらなかった可能性がある。保 11-3 については、9 月の局地的短時間豪雨の際の情報発信が評価されたと思われる。自然災害への対応の評価は、具体的な災害対応と、保護者との日ごろの情報共有により向上していくと思われる。

保護者

- ・保 11-1 74%《本校は、安全な学校づくりを進めている》
- ・保 11-2 89%《本校は、避難訓練やセーフティ教室などで子どもに安全に関する指導をしている》
- ・保 11-3 84%《本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している》

地域

- ・地 6-1 96%《学校は、安心安全な学校づくりを進めている》
- ・地 6-2 100%《学校は、安全性を高めようと地域と協力している》

【 4. 委員からの付記意見 】

今年度より設問の文言が変更になった項目や複数の要素があり、回答しにくい設問文があった。次年度の設問については、改めて精査する必要がある。

【 5. 開催された評価委員会等の活動 】

令和7年	4月7日(月)	入学式
	6月5日(木)～7日(土)	学校公開 参観
	7月7日(月)	拡大学校運営委員会出席
	9月3日(水)	非認知能力勉強会
	9月4日(木)～11日(木)	夏休み作品展 参観
	10月21日(火)	第1回 学校関係者評価委員会 (アンケート内容確認)
	10月28日(火)	運動会 参観
	11月4日(火)～11日(火)	児童・保護者・地域アンケート実施
	11月10日(月)	第2回 学校関係者評価委員会 (拡大学校運営委員会・次年度以降の組織再編について)
	11月10日(月)～12日(水)	学校公開 参観
	12月6日(土)	奥沢発表会 参観
	12月25日(木)	第3回 学校関係者評価委員会 (アンケート結果の分析評価)
令和8年	1月6日(火)	教職員企画運営会議への分析データ・評価中間報告書提出
	1月14日(水)～21日(水)	書き初め展 参観
	1月21日(水)	第4回学校関係者評価委員会(Zoom 開催) (報告書文案作成)
	1月30日(金)～31日(土)	学校公開 参観
	2月10日(火)	学校運営委員会での評価報告書提出
	3月25日(水)	卒業式

【 6. 評価委員会 委員 】

委員長 伸澤 秀基

委員 五島 満、田島 佳江、早川 志野、増田 光子、湊 五郎、村田 尚恵(五十音順)

以上